

平成 30 年度 寒河江市振興審議会・さがえ未来創成戦略に係る外部有識者会議の概要

平成 30 年 10 月 30 日(火)10:00~12:00

寒河江市役所 1 階 議会会議室

【出席者】委員 15 名 副市長以下事務局

【欠席者】委員 4 名

有識者意見要旨

【結婚・出産・子育てについて】

- ・2 人目の子の優遇というのは 3 人目より大いに引き立つのではないか。第 2 子が生まれていない状況がないのかどうかという見方も必要なのではないか。
- ・出産については、なかなか 1 人目を授からない方や流産・早産等デリケートな問題でもあるので、その辺りも配慮して計画に盛り込んでほしい。
- ・子供が増えないのは経済的な面も大きいのでは。子供たちも進路について経済的な不安を抱えているという声が多い。今後も子育て支援をお願いしたい。

【学校・教育について】

- ・高校 3 年生までの医療費無料化は、保護者からありがたいという声を多数いただいている。
- ・給食の無料化について、中学生になると塾や部活動などでお金もかかるため、助成を増やしてほしい、無料化を実現してほしいという声が保護者から多数聞かれるため、ぜひ検討してほしい。
- ・学童クラブについて、希望者全員が学童を利用できるように、施設面での充実などで協力をお願いしたい。また、夏休みなどの長期休みの期間預かってもらえるところがあれば、学童に集中することはなくなっていくのでは。毎日通う必要はないが、友達が通っているから通わせたいという保護者もいる。こういった点を考えていけば、学童に集中することはなくなっていくのでは。
- ・今後学習指導要領が変更になるため、ALT の先生との学習、英語に触れる機会を増やしてほしい。また、中学 3 年生の英語検定 3 級以上の取得率を伸ばしてほしい。
- ・学校関係で交換できる情報については PTA 役員に開示していただき、一緒に課題を解決していきけるような体制を取っていききたいので、協力をお願いしたい。

【農業振興について】

- ・さくらんぼはフィリピンや東南アジアのほうでも充分需要があると思われるので、販路開拓を推進してほしい。
- ・後継者不足と休耕田の増加
- ・子姫芋の認知度はまだ低いので、もっと売り込んでほしい。また、品質の均一化を含めて統一化を図ってブランド化を進めていただきたい。

【観光振興について】

・広域観光、広域連携についてはもっと寒河江市がリードしてほしい。近隣の自治体を上手く利用して西村山全体を上手く盛り上げていくように考えていけばいいのではないかな。

【商工振興・雇用について】

・市外に出た方が市内に戻った時の働く場所の確保のためにも地元企業の振興が大事。また、各業種への支援を細かく見ていただけるとありがたい。

・企業の人手不足が深刻であり、外国人実習生の活用等、様々な労働提供の形も含めて進めていただきたい。

・飲食店でカード決済できる店が少ないので、観光振興の点においても端末設置に対する支援・補助、または決済手数料への補助等考慮していただきたい。

【福祉・介護について】

・高齢者の交流やふれあい活動の場を設けてほしい。これから高齢者が増えてくる段階の審議があまり出ていないように感じられる。

・近隣の介護施設では人材不足から事業に支障をきたしているところもある。今後介護職員の採用、人材について積極的に考えていかないと難しい。自宅で介護をする場合の講習会等、市と協議をしながらできることは取り組んでいきたい。

・高齢者宅の除雪について、昨年からの介護認定の方の玄関前を除雪する取り組みを始めたようだが、こういったあまりお金をかけないでできる取り組みをもっと広げて(一人暮らしの高齢者宅等へ)、住みよい環境への取り組みを続けてほしい。

【地域づくり・男女共同参画について】

・慈恩寺、グリバーさがえ等各地区の拠点となるようなものがある。慈恩寺で言えば醍醐地区から白岩、高松地区なども含めて、周辺の地区・町会に呼びかけし盛り上げてもらう事で、点から面への活性化を生み、より充実した地域の活性化につながっていくのではないかな。

・地域活力アップ事業については、地域で埋もれている取り組み、これからやろうとしている取り組みを職員から発掘して行ってほしい。

【その他】

・人口の社会動態について、寒河江市の数字は県内35市町村中何番目の数字か、平均より上なのか下なのかなど、市民にわかるような形で提示することが信頼にもつながるので、検討してほしい。

・施策のPRについては、各種媒体を利用し、継続して自信を持って行ってほしい。

・アンケート結果は市民の意識を高めるといった視点から、計画などを見直すときの参考にしてほしい。